

3つの活動指針

「まちのつながりプロジェクト」は、一人ひとりの小さな一歩からはじまる、地域の魅力を高める取り組みです。今後、ますます増加する「空き家」という空間をヒントに、まちに住み、歴史を知る地域住民、空き家所有者と活用希望者が一緒になって、まちの魅力につなげるプロジェクトを目指します。

エリアビジョン～3つの視点と地域特性～

- 01 立地:交流の場や機会となる小商いによる、豊かな徒歩圏をつくる
- 02 空間:戸建て住宅を活かした、新しい賃貸方法をつくる
- 03 人:様々な人々が小商いに挑戦できる機会をつくる

なぜ、富士見町なの？(地域特性)

- 01 立地:「バス・自転車・徒歩」が主な移動手段となるバス停圏
- 02 空間:エリア内は、戸建て住宅が密集する住宅地
- 03 人:公的サービスのつながり、地域を支える様々なコミュニティ活動が存在



まちの「つながり」プロジェクト 空き家とまちのつながり

まちの「つながり」プロジェクト

まちづくりプロデューサー

調布市が任命した「まちづくりの専門家」です。大学教授と建築家2人のプロデューサーの連携により、地域住民の視点やまちづくりの提案、成功事例の紹介イベントやトークセッションなど、様々な提案を行います。



高橋 大輔氏

共立女子大学家政学部建築・デザイン学科 教授／一級建築士／博士(工学)



菅原 大輔氏

建築家／クリエイティブディレクター／SUGAWARADAI SUKE建築事務所 代表取締役／FUJIMI LOUNGE店長

国立小山工業高等専門学校建築学科助教授を経て2008年4月より現職。大田区をはじめ空き家を活用した地域住民の居場所づくりの実践的研究を行う。主な著書に「小さなまちづくりのための空き家活用術」(2017, 建築資料研究社)、「通りからはじまるまちのデザイン(空き家活用術2)」(2019, 建築資料研究社)

早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了後、日仏の設計事務所を経て、帰国後に事務所設立。「物語る風景」を目指し、まちづくりから建築、被災地支援まで分野を横断したデザインを行い、2019年からFUJIMI LOUNGEを運営。国内外30以上の受賞歴がある世界でも注目の建築事務所。

調布市空き家エリアリノベーション事業
まちの「つながり」プロジェクトの
最新情報はnoteでチェック!



https://note.com/chofu_areareno

LINE公式アカウント
調布市

スマイのミライ \ 教えナビ /

「空き家」のやりたい事が見えてくる
見えてくる

空き家の様々な「なぜ」を、相談と学びの2つの視点から、皆さんの疑問に答える便利ツール! まずは友達登録してください!

■主催



■協力

調布市空き家等対策推進協議会
社会福祉法人 調布市社会福祉協議会
共立女子大学
SUGAWARADAI SUKE建築事務所株式会社

調布市の空き家事業に関するお問い合わせ

調布市住宅課 042-481-7817
9:00～17:00 (土・日・祝日休)
akiya@w2.city.chofu.tokyo.jp



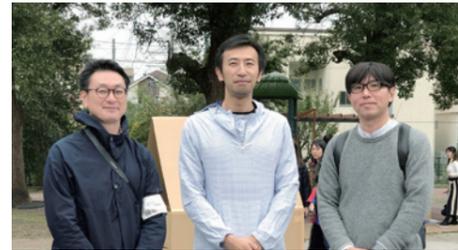
1年目の振り返り。そして2年目からのチャレンジ。

2020年10月にスタートしたこのプロジェクト。地域の魅力を再発見し、伝えていくプロセスを大切にしながら、トークイベントや対談を通じて、エリアビジョンの構想を膨らませてきました。

2021年からは、地域の居場所づくり、徒歩圏内の充実、必要なまちの機能の整理、ヒトとモノの回遊性をつくるなど、空き家をリソースにした「まちの未来」へのチャレンジ。

地域の拠点づくり。ここでは、住民のみなさんとの対話、トークイベントやワークショップによる世代間交流、そして

様々な提案と魅力的な出会いのマッチングが、プロジェクトに参加する皆さんをお待ちしています。



フェーズ1

2020年度

STEP 1

地域特性を知る。

地域の価値を高めるエリアビジョンの考案

フェーズ2

2021年度

STEP 2



実践への準備とマッチング。

地域住民・空き家所有者と活用の担い手。事例ノウハウの検討とプロジェクト参加者との対話。コミュニティ推進と価値向上に向け、様々なマッチングを試していきます！



フェーズ3

2022年度

STEP 3

自走する

持続可能なプロジェクトを目指して。

「地域の居場所」運用の実証実験。空き家活用における様々な関係者のマッチング。エリア内の連鎖的な取組事例の構築と事業構想

富士見町の空き家所有者の方、空き家活用を希望される方のご連絡をお待ちしております。



Talk Session トークセッション

ここから、各回のトークセッションシーンをご覧ください



全8回のトークセッションは、2020年度の4回は自ら稼ぎ地域に開く拠点運営をされている方々をお招きし、空き家活用事例やその展開手法の紹介を通じて、地域の方々と共有し、知見を得てきました。2021年度は未来の「まち」の担い手に託すという意味を込めて、「まちに参加する人を育てる」をメインテーマに、地域づくりの実践者をお招きし、プロジェクトの目標である担い手の発掘と育成につなげていきます。

01 2020.11.29

空き家、空き店舗活用の実践
まちの魅力づくり・住み開きEOWNの心得



加藤 陽介氏
Yosuke Kato

建築家／一級建築士／インテリアプランナー／東京都木造住宅耐震診断技術者／応急危険度判定員／既存住宅状況調査技術者／(株)楓設計室 代表取締役

02 2020.12.26

連鎖する関係性が掘り起こす
人と場とまちの可能性



宮崎 晃吉氏
Mitsuyoshi Miyazaki

株式会社HAGI STUDIO代表取締役／一般社団法人日本まちやど協会代表理事／株式会社まちあかり舎取締役／東京芸術大学非常勤講師

03 2021.01.31

官民連携による
空き家活用と
伝統的な
町並み再生
3人の視点からみる、
とある栃木の物語



一条 嘉之氏
Yoshiyuki Ichijo
栃木市 総合政策部 蔵の街 課副主幹兼重伝建係長



横内 基氏
Hajime Yokouchi
かえもん暮らし事務局／NPO法人とちぎ蔵の街職人塾副理事長／国土館大学理工学部建築学系准教授



遠藤 翼氏
Tsubasa Endo
合同会社Walk Works代表社員／NPO法人蔵の街遊覧船 船頭

04 2021.02.28

地域プラットフォームの作り方



高橋 寿太郎氏
Jutaro Takahashi

不動産コンサルティング会社・創造系不動産代表

05 2021.06.05

小さな一歩から
はじまる
まちの魅力を高める
まちづくり活動



杉崎 和久氏
Kazuhisa Sugisaki

法政大学法学部教授

06 2021.07.03

遊びと学びと
まちづくり



丑田 俊輔氏
Shunsuke Ushida

ハバタク株式会社 代表取締役／シェアビレッジ株式会社 代表取締役／プラットフォームサービス株式会社取締役社長

07 2021.08.07

暮らしと商いと
地域の拠点



平田 悠氏
Yu Hirata

「月刊 商店建築」編集部

08 2021.09.04

ネットワークと
はじめの一歩



永井 大輔氏
Daisuke Nagai

イオンタウン株式会社 新業態推進本部 他／一般社団法人P-players 理事／特定非営利活動法人 自治経営 関東甲信越アライアンス 副代表